

緊急報告

麻生総理大臣の 「社会的な常識がかなり欠落している人が多い」 との発言に抗議する

麻生総理大臣は11月19日に開かれた全国知事会との会合で、「地方が抱える医師不足の問題についてどう考えるか」という質問に対し、「自分で病院を経営しているから言うわけではないが、はっきり言って、社会的な常識がかなり欠落している人が多いと思われる。とにかく、ものすごく価値判断が違う。それはそれで、そういう方をどうするかという話を真剣にやらないといけない」、「地方病院での医者確保は、自分で病院経営しているから言うわけじゃないが大変だ」、「小児科、婦人科が猛烈に問題だ。急患が多いところは皆、医師がいなくなる」、「これだけ医師不足が激しくなってくれば、責任は医者の方にある話じゃないか」、「急患が多い診療科は、皆、医者は引く。だとしたら、そういう診療科だけ診療報酬を引き上げるなど、変えてみたらどうか。正直、これだけ医師不足が激しくなってくれば、責任は医師の側にあるのではないか」などと述べた。

これらの発言は、全国的な医師不足・地域医療や救急医療の崩壊が、長年の医師養成の抑制、医療費の抑制策にあるという認識が全く欠如した、極めて理不尽な発言であり、また、その責任を医師の側へ転嫁するなど、到底、看過できるものではない。

私ども北海道医師会は、このたびの麻生総理大臣の全国知事会でのこれら発言に対して強く抗議し、その撤回と謝罪を求める。

平成20年11月20日

北海道医師会 会長 長瀬 清

※ 本抗議文は、11月20日、麻生内閣総理大臣はじめ全閣僚、自由民主党本部、自由民主党北海道支部連合会、北海道医師連盟推薦の自由民主党所属国会議員・次期衆議院小選挙区立候補予定者、北海道医師連盟推薦の自由民主党所属北海道議会議員、北海道知事、日本医師会長、都府県医師会長、道政記者クラブ所属各社、メディファクス、北海道医療新聞社、道内郡市・医療機関医師会長、当会全理事会メンバー宛にファクシミリで送信するとともに、会員各位にはメーリングリストをもってお知らせしておりますこと申し添えます。